

1. 件名：柏崎刈羽原子力発電所 6、7号炉設置変更許可申請（所内常設直流電源設備（3系統目））に関する事業者ヒアリング【2】

2. 日時：令和3年11月26日 17時00分～18時00分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室

4. 出席者

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

齋藤企画調査官、義崎上席安全審査官、岩崎安全審査官、宇田川安全審査官、照井安全審査官

事業者：

東京電力株式会社

原子力設備管理部設備技術グループ 課長 他9名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

・なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	。
0:00:03	はい規制庁のテルイですそれではあの柏崎刈羽 67 号の第 3 電源ですね、のヒアリングの 2 回目を始めたいと思います砂層ですけど
0:00:15	東京電力のほうから説明をお願いいたします。
0:00:20	。
0:00:24	はい。
0:00:25	はい。
0:00:26	東京電力ホールディングスのワカバヤシでございます。
0:00:30	本日の説明を始めさせていただきます。
0:00:33	まずはお手元の資料 4 本日案 2 件になりまして、
0:00:39	この資料の表紙に資料番号不安ですけども、資料番号経験 67001001、この引っかかるような説明のスライドの資料になりますとKK 67002001。
0:00:56	こちらは、
0:00:58	補足説明資料の説明が残す説明資料となっております。本日はこの 2 点を用いて説明をさせていただきます。
0:01:08	本日になりますけれども、前回のヒアリングの
0:01:13	行った際に、この御指摘いただいた内容について、この資料を用いた場合を説明させていただきたいと思います。
0:01:22	要はですねまず
0:01:24	スライドの今の資料のほうも地域の前回の御指摘事項についての回答させていただきたいと思っております。
0:01:33	なぜ過労全体からの変更点につきましては、この資料に黄色ハッチングした箇所となっておりますので、こちらは変更になったところという形で見ていただければというふうに考えております。
0:01:48	まず、資料の 3 ページ目をご覧ください。
0:01:55	まず前回のご指摘事項の中でですね。
0:01:59	数が 2 系統メール変わった直流電源の
0:02:05	青でハッチングしてある範囲なの。
0:02:09	これまでの既許可のようですとか、方向性範囲と
0:02:13	ハロー一部断っているところがあるというような御指摘をいただきまして、
0:02:19	こちら側の資料を修正いたしまして、この 2 系統目可搬型直流電源設備を、
0:02:26	これまでの既許可の説明と整合するように、この弁 2 社並びに AM 用直流 125 強充電器炉を塗り潰しような形で記載の修正をしております。
0:02:42	はい。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:44	続きまして5文字の2ページ目、販2ページではスライド3ページ目になりますけれども、
0:02:53	今回、
0:02:55	この新設した設備がどこなのかというところが、もともとの資料では読み取れなかったということで、そちらを明示するということを、この変更を加えております。
0:03:07	具体的に申し上げますと、コンビニ側の添3系統目の周りを一点鎖線で
0:03:15	囲ってあるところがございましてこちらが今回新しく作ってる設備となっております。
0:03:22	こちらの守備につきましては補足説明資料のほうに書いてあるものとする本内容としては補正をするようになっております。
0:03:32	はい、続きまして、スライド5ページ目をご覧ください。
0:03:40	このセール5ページ目、こちらの2ヶ所ほど、前回の御指摘を反映して、その修正を行っております。
0:03:50	まず、39条のところ、右側のところでこれを機に寄りかかっ価値の一つあります常設耐震重要重大事故防止設備のところですね、こちらは前回の記載がテスト結合厚さではなかったので、
0:04:09	そちらを修正したといったものになっております。
0:04:14	あともう1点、スライド5ページ目の下の方ほう57条の
0:04:20	基準適合性の本説明のところなんですけれども、
0:04:26	こちらノウハウ後段で出てくる蓄電池側の容量の根拠のところを水用するような形の記載を追記しております。
0:04:37	67条の
0:04:39	基準要求の中で、
0:04:42	24時乾燥使用できることっていうようなところがありまして、それに対する適合方針として、やっぱり
0:04:52	ここにもこの要領に関する話を見込む必要があるということで、こちらから想定容量の記載を読み込むような者に修正を行っております。
0:05:05	はい。
0:05:07	では続きまして、スライド。
0:05:10	今、
0:05:11	10ページ目をご覧ください。
0:05:20	はい、スライドの10ページ目におきまして、
0:05:24	はい。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:26	下の制御弁式鉛蓄電池の優位性の天吊りをもちまして、上から二つ目の、エネルギー保持性能が高い。
0:05:36	いうところに関しては記載の拡充、
0:05:39	いうところの御指摘をいただいております。
0:05:43	その内容について説明いたしますと、こちら地裁の管理になりますけれども、
0:05:50	この制御弁式鉛蓄電池というのがベント型よりも、自己放電に少し低いと充電してるような状態で法令の量が減少しにくいことから、
0:06:01	電圧のばらつきが小さくて均等充電も不要になるんだよって、エネルギー保持性能が高いといったことを記載を拡充しております。
0:06:13	はい。
0:06:14	続きまして、同じくスライド 13 ページになります。
0:06:27	スライド 13 ページはですね。
0:06:29	また、前回の
0:06:31	ヒアリングの中で、6 号炉及び 7 号炉の負荷電流の際、
0:06:38	についての
0:06:40	PAR の御指摘をいただいたというところがございます、
0:06:44	こちらは黄色のハッチングさところにそう。
0:06:47	フォールトなロールの添 13 について記載を拡充しております。
0:06:53	各 5 号口中の設備構成の機器すんですとか照射設計の仕様の違いによって、電流を最後生じているということを明確にして記載しております。
0:07:07	はい。
0:07:08	スプライト分につきまして前回の御指摘事項を反映して、本修正した箇所は以上となっております。その他この企業でハッチングしたところはですね。
0:07:21	この御指摘事項以外の
0:07:25	記載の見直し象限の鉄製から人がそういった私で修正している箇所が 53 の箇所がございます。
0:07:33	ちょっとスライド等の最後の 17 ページなんですけれどもこちらの表につきましても、
0:07:41	掲載が少し緑といったところございましたので、こちらあわせて修正を行っております。
0:07:50	はい。
0:07:52	そうスライドに関して、前回の御指摘事項を反映した箇所は以上となっております、続きまして、この補足説明資料を
0:08:01	法の

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:03	今の御指摘事項についても
0:08:06	高水準の説明をさせていただきます。
0:08:11	補足説明
0:08:15	補足説明資料の
0:08:18	次の 57 - 4 - 8。
0:08:23	ページをご覧ください。
0:08:31	はい、この資料 57 - 4 - 8 ページでございます。第 57 - 4 - 7 図、こちらの図はですね前からこの図はなかったんですけども、
0:08:44	前回の系統図において、
0:08:47	直流電源の
0:08:50	直流回答の単線結線図だけではなくてその上流側の系統図もわかる。
0:08:57	安全を
0:08:58	追加するといった、そういった御指摘をいただきまして、今回それは変わる否定を直流電源系統の上流側の交流電源系統全般の
0:09:10	系統図を追加しております。
0:09:13	こちらの情報の補足説明資料のほうに追加しているというふうにそういったことを行っております。
0:09:22	補足説明資料で、前回の御指摘を受けたところがある以上となりましてそのターン下がり同様に、
0:09:31	記載の適正化といった層の範囲につきましては、ほぼ同様に行っているものでございます。
0:09:39	はい。
0:09:42	本日の芝の説明は以上となります。
0:10:11	規制庁のテルイです。御説明ありがとうございます。
0:10:15	それでは今説明のあったところで、
0:10:21	確認があれば、はい。
0:10:26	規制庁の義崎ですと、パワーポイントの 13 ページの黄色ハッチングで追加してもらったところなんですけども。
0:10:35	これ 6 号機 7 号機で負荷の差があるということで、
0:10:43	機器数及び詳細仕様に違いがあるということなんですけども。
0:10:47	これ共用してるものがあるってことですか、その 6 号機 7 沖で負荷の電流がかなり違ったので、
0:10:55	異なる負荷があるのかなと 6 号と 7 号で
0:11:00	何か特別な共有するものがあるのか、その辺が確認したかったんですけども。
0:11:06	東京電力ワカバヤシです。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:11	まず負荷の共用という関係で申し上げますと、本加工と治らそれぞれ核暴走東京都にそれぞれの負荷を設けておりますので、共用するということはありません。それぞれ公共とも思います。
0:11:27	やはり
0:11:29	今録音なら大野の状況で申し上げますと、特にこの格納容器 8 億には数値関係でいきますと 7 号炉につきましては、もう保守的に物が引き終わってるというような状況になってる方もすべて、
0:11:47	確定しているような状況になっておりまして、
0:11:50	程度空洞がつくのはこれから設計もまだ
0:11:54	当然石化沼津設計ちゅうところも、破局ことも考慮しまして、
0:12:00	今後のそういうとを持たせるっていうような
0:12:04	まだちょっと変動する範囲っていうのもあるということを考慮いたしまして、
0:12:11	少し下流側の裕度を持った設計にしているっていう、そういう配慮でございます。
0:12:20	地域のヨシザキですと補足の 57 - 6 - 6 とか 57 - 6 - 3 を見ると、6 号と 7 号。
0:12:29	の
0:12:30	まあ直流の 3 系統目の負荷の
0:12:34	真ん中にある S / R 弁の制御電源ってあるんですけど、これが大分違ってるので。
0:12:41	その理由を確認したかっただけなんですけども。
0:12:58	東京電力ホールディングスのソノガシラと申します。ご指摘いただきました点、改めて確認いたしますと 57、6 - 3、A 評価 A 蓄電池 3 系統目負荷の中段に格納容器、圧力の勝ち装置制御電源。
0:13:15	要はフィルターベントこちらの電源の 6 億円、17.3 アンペアと。
0:13:23	57 ろの 6 - 6、同じような表の中段にある 8000 に安定これがちょっとさらにちょっと大きな差があることの御指摘と理解しましたが、この点につきましては、構成としまして圧力、
0:13:39	(19) 圧力逃がし装置関連の系統設備、
0:13:43	でおきまして負荷は、先ほどの回答の通り、同じです。フィルター走時水入口圧力、放射線モニター水素濃度フィルタ差圧等ございます。
0:13:55	あと他の原子炉建屋水素濃度計の負荷もこちらの制御電源の負荷として積み上げております。また 1 点ちょっと若干大きなところとしまして 6 億におきまして、security させ対策を聞き、
0:14:09	そうですね、こちらの 6 号機の制御電源からとってる関係でちょっと負荷がちょっと若干多めに出ております。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:20	はい。
0:14:21	なので後ご指摘の点は
0:14:25	まず共有はございません。どこ6億と7号機でこの格納容器薬局逃し装置関連は同じような負荷を
0:14:33	電流が影響から、この制御電源の中に入っております。
0:14:39	あと先ほどご説明したし、立ちました。ちょっと若干詳細設計も今進行中のところもありますので、若干の裕度並びに先ほど申しましたセキュリティ対策の関連機器が6億におきまして、こちらの制御電源から給電されていることから、
0:14:55	負荷電流が
0:14:57	すみませんがこの中でちょっと大きくなってされているということでございます。以上です。
0:15:05	規制庁の義崎です。今の説明で、わかりました。私からは以上です。
0:15:17	規制庁トレースAほか何か。
0:15:21	やはり、
0:15:22	パスコ、
0:15:26	今のコメント回答部分でなくとも、例えば前回指摘しやすいつてことでも構いませんけれども、
0:15:33	はい。
0:15:37	あります。
0:15:41	規制庁イワサキです。
0:15:44	ちょっと確認なんですけど、大体3電源を
0:15:54	つけようと思ったらすぐ給電は開始できる設備なんですか、それとも何か
0:16:01	ちょっと手順が一定ランクなんか給電解消で若干時間があるような設備なのかちょっと教えてもらいたいんですけど。
0:16:19	東京電力の田中です。猶予を持った操作時間になりますけども、今20分かかるという想定をしております。以上です。
0:16:36	。
0:16:37	規制庁イワサキですわかりましたすみませんありがとうございます。
0:16:45	カトウも一定の補足資料のほうで
0:16:51	細か比較好みの問題かもしれないんですけど
0:16:57	57 - 3 - 3 に第3電源の
0:17:02	系統概要図が入ってるんですけど。
0:17:08	個人的には何か新設範囲のなんていうか、その沸騰
0:17:14	来切り換え装置までなんか海洋図には入れたほうがいいのかような気がするんですけど。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:23	いかがですかね。
0:17:25	あとというの、何か先行は何か時切り換え装置まで入っていたような気がしたもので、
0:17:32	これはちょっと
0:17:34	いかがですかねという、
0:17:38	東京電力ホールディングスのソノガシラと申します。今ご指摘ありました切り換え装置といえますのは、同補足説明資料 57 - 4 - 2、4 - 3 にそれぞれ新設範囲を詳細に号炉別に記載しておりますが、
0:17:55	こちらのAM用切替装置のことで4まずよろしかったでしょうか。
0:18:00	規制庁イワサキですと認識を通りです。承知いたしました。そうしますとこちらの新設範囲の緑の箇所は今6号炉の57 - 4 - 2からしますと、
0:18:16	次の直流125号と充電器3棟3系統目あと直流125分と3系統目蓄電池、
0:18:25	しゃ断器を介して、あと直流母線の直流125VHパックMCCまで、こちらのほうがケーブルを新設する範囲でございます。
0:18:36	その印鑑しまして、すいませんページちょっと戻っていただきますと57 - 3 - 3。
0:18:43	こちらは先ほど申しました損蓄電池からそのHパックMCCまでの新設する緑のところを概要として表記しておりますが、
0:18:54	投稿して機能1としましては、今の回答でよろしかったでしょうか。
0:19:18	東京電力ホールディングスの遠藤と申します。
0:19:21	ご指摘のところですね57 - 3 - 3は、ケーブルサイズを評価する図だったので、ケーブルしかちょっと書いてないというのが率直なところで、全体図というか、切替の
0:19:40	今回新設範囲は先ほどの57 - 4 - 2表の3のところに記載させていただいて切替の遮断器まで入れるのは全然、
0:19:51	問題ありませんのでそれは反映するのは別に、
0:19:54	可能ですけども。
0:19:58	きちっとイワサキ出せなかったと、特段そのこだわりがあるわけではなくてちょっとこここの図でそのケーブルサイズの評価だけだったらねケーブルだけというそういう整理である大丈夫です。すいません。ありがとうございました。
0:20:20	委員長のテルイです他の2項、
0:20:23	おります。
0:20:27	ほか規制庁の義崎です。このパワーポイント3ページで、
0:20:34	捜査かす中央制御室

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:37	と書いてあるところなんですけども、先ほどそう切り換え後 20 分ぐらいかかる ときだんですけども、この操作は 20 分かかるとそういう理解でよろしいです か。
0:20:52	東京電力、田中です。はい、おっしゃる通りで中央制御室内の操作確認も含め ます状況判断等も含めますけども、20 分ということです。以上です。
0:21:04	C という指摘ですかの中央制御室で操作での、遠隔操作、それとも何だその 晩まで行って入り切りをそのなんか手動でやると、そういうどちらのイメージな んですかね。
0:21:20	はい、東京電力の田中です。当番で電源メカニカルインターロックの 2 基の傷 負荷を切り換えたり、CS 操作をしたりということになります。
0:21:34	ちなみにあの操作の内訳、よろしければ説明させていただいてもよろしいでし ょうか。
0:21:41	はい。当 20 分の内訳なんですけれども、まず事前確認で交付、
0:21:48	で、その後ですね、H パック MCC の受電切り換えですけども、電圧計の確認、 あとは操作で参加者がありますので 3 分。
0:22:00	で、それに裕度を見まして 5 分を見込んでおります。
0:22:05	その後ですね、必要な機器の受電切り換えということで、ここで言いますと の のところの操作になりますけれども、お墓が多い側の操作が多い側の 6 号 機で 6 ヶ所になります。
0:22:20	1 ヶ所 1 分でゼロ分かかりますけれども、
0:22:24	そこに裕度を持たせて 10 分ということで、
0:22:27	事前確認で 5 分、一番 2 番の操作で 5 分で三番 4 番の操作で 10 分という内 訳になっております。以上です。
0:22:41	はい。
0:22:42	規制庁入試積算説明はわかりました。
0:23:11	。
0:23:13	ちょっと冷蔵庫掘り数個。
0:23:21	そうです。
0:23:45	今のところないようでしたら、続けて説明をお願いいたします。
0:23:54	はい。
0:23:56	東京電力ホールディングスのワカバヤシの数。
0:23:59	続きまして、
0:24:02	この補足説明資料の内容につきまして、今回のこの前回はこの本説明資料だ けだったんですけども、この内容につきまして、その概要の説明をさせてい ただきたいと考えております。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:18	今回メインで話す変わったというような範囲の今後設置許可基準規則の 57 条の電源設備、
0:24:27	所農業通例なのだった部分となっておりますので、こちらの条文の内容を中心に説明をさせていただきたいと思っております。
0:24:38	マルシェお手元の資料の資料の
0:24:42	今後 17 - 1 - 2 ページをご覧ください。
0:24:50	まずはですねこの 57 条の設置とか基準規則の日要求に対して適合させるための設計方針というのをまとめたものがこちらの資料となっております。
0:25:04	57 条の要求事項、今回追加になったところとしましては 57 条 2 項で記載を / まさに故障に記載のあります通りの直流電源をもう契約がないといったものとなっております、
0:25:19	さらにその会社といたしましては、
0:25:23	この人に差があります通りの
0:25:27	フロー給電時間が人はほぼ負荷の切り離しとかっていう記載がありますけども、24 時間というところと、あともう 1 回から特に高い信頼性を有するといったところを、この要求事項になっているというふうになっております。
0:25:43	これにつきましては
0:25:46	それを今回新設する所内常設直流電源設備(3)系統弁はどうしているかっていうのを、この 57 のほう 1 - 2 のこの下のところからその 1 人ます。
0:26:00	でも、FARO 大きなところで 1 月と
0:26:04	まず 57 - 1 - 3 ページの(1)、こちららは設備となっております、
0:26:13	まず給電時間に関する幼虫に関する化学療法方針としてはこの 2 段落目にあります通り、
0:26:22	この朱代表性直流電源設備を、
0:26:25	全交流動力電源喪失、電源喪失から 1 時間以内に中央制御室においてをこれを開の操作以外での負荷切り離しを行わず 24 時間にわたり給電するといったことを記載しております、
0:26:41	こっち側の要求事項はその輻射 P 波らしい。
0:26:45	行って 8 時間その後 24 時間というのは何か話ってますけど、今回設置する系統につきましては負荷の切り離し、
0:26:53	なしで 24 時間という構成となっております。
0:26:57	また、
0:26:59	もう一つ、解釈のところにあります特に高い信頼性っていうものに関しましては、
0:27:06	同じく 57 - 1 - 3 の 3 段落目にありました通り、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:11	この基準地震動による地震力だけではなくて、弾性設計地震動によるその地震力に対する評価も行うといったことを考えております。
0:27:25	こちらは先日汚染治療で進めさせていただいた通りとなっております。
0:27:30	また
0:27:32	その設置場所に関しましても、耐震性ですとかそう火災防護の観点を考慮して検収建屋なり設備といったこととしておりますし、また終わろう心バックグラウンド既設の設備も同様なんですけれども、
0:27:47	位置的分散ですとか、次の 57 - 1 - 4 ページにあります。
0:27:53	既設設備と独立性聞いたことを考慮することとしております。
0:28:00	この中の売り 1 と基準適合性の説明は以上となっております、続きまして、特に高い信頼性。
0:28:09	の説明が 9 - 57 の 2 項のほうで記載をしております。
0:28:14	こちらと記載内容を先ほども説明した内容とちゅ或いは前回の
0:28:20	ハローか溶接部に備えると重複する部分が多々ありますが、ほかようまず
0:28:27	資料の構成概要説明させていただきますと、
0:28:31	まず 57 - 2 - 2 ページ用チェックを既設の直流電源設備としてはこういったものがあるというのを、この 1 項の直流電源設備のところの説明をしております。
0:28:43	これに加えて、本当に 3 系統目としてつける設備というのを、保護者から 2.1 のところで説明しております、今回つくる設備は直流 120 分と蓄電池括弧 3 系統目となっております。
0:29:01	2.2、こちら側の設計方針となっております、
0:29:07	先ほど号車の歌基準地震動ですが、弾性設計を地震動の話で附属説明を補足する内容となっておりますけれども、
0:29:18	要するに加える今回設置する SA 設備というのが、
0:29:23	設計基準事故対処設備が持っている耐震の要求ですね、端的に申し上げますと耐震重要度 S クラスの
0:29:34	の設備が持つる条件を
0:29:39	兜岩の 3 系統目に要求するといった、そういったものとなっております。
0:29:46	57 - 2 - 4 ページ上にあります。この賞としてこちらで調べる説明した概要と同様となっております。
0:29:58	そう耐震設計の話、57 - 2 - 5 ページ目からがどういった観点で
0:30:06	やってるかこちらで先ほど丸に説明していた内容と同じようなことがまた記載をしております、
0:30:13	あと 57 の海の 6 ページ目に、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:17	上段にあります通り、
0:30:20	後程、
0:30:21	冒頭に申し上げたのは、設計基準
0:30:25	事故対処設備メーカーと同等の
0:30:30	Sクラス相当の設計をするといったところ、どういったところで反映しているかというところをこの表でまとめておまして、
0:30:38	もちろんそれにプラス同じ姿勢としては条件も加味する他設備となっております。
0:30:46	以上の 57 - 2 - 6 ページの下でまとめていうお話伺っておりますこちらのほうも先ほどのマルシェ説明疾患内容とほぼ同様、
0:30:57	ものとなっております。
0:31:01	続きまして、今週 7 - 3、こちらは蓄電池の仕様となっております。
0:31:11	こちらは今日の資料についてということになりますけれども、こちらの資料に関しましても、
0:31:19	このホスティング概要説明のスライドのほうで同じ内容がありますけれども、今回、
0:31:25	この制御弁式鉛蓄電池を採用すると容量は 34 アンペア/h ということを予定をしております。
0:31:35	それにここは今回新設する範囲の
0:31:38	ケーブルサイズの評価といったものを 57 - 3 - 2 から 57 - 3 - 5 のほうで評価額室長が記載しております。
0:31:48	こちら先行電力でも同じような評価を行っております、あとは
0:31:55	当社の分は通所におきましても同じような評価を行っておりますけれども、
0:32:00	当社の場合ですと、
0:32:02	原子炉建屋内に地区で違うということで、先行電力に比べまして、ケーブルを短いということもありますので、比較的電圧効果の影響というのは最小限に抑えられるというふうに考えております。
0:32:18	続きまして 57 のすく 3 - 5 ページにあります制御弁式鉛蓄電池、
0:32:24	農協変換しますけれども、こちらもう概要説明資料のスライドで出現した内容と同様に、
0:32:33	校正用べし鉛蓄電池はそう大容量可搬可能だったり、エネルギー保持性能の水素発生量不具合対応といったそういった利点があるといったことを説明しております。
0:32:47	詳細につきましては 57 - 3 - 7 ページ目以降のこの表で、
0:32:52	細かいところを記載をしてるといった内容となっております。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:01	はい。
0:33:02	続きまして 57 の 4 系統図になりますけれども、こちら先ほどもちょっと申し上げましたけれども、
0:33:12	系統図といたしましてはまず、57 - 4 - 2 ページ目でございます。電源系統図公開新設する範囲の記載したものが、
0:33:24	人ありますのでこちらの 6 と 7 号のそれぞれの系統構成が若干違うところがありますけれどもそれぞれに対して記載をしております。
0:33:36	57 - 4 - 4 ページ目が、こちらが
0:33:41	蓄電池からそれぞれ給電する範囲と必要な操作箇所を記載したものとなっております。
0:33:51	続きまして 57 - 4 - 6 ページ目、7 ページにありますが高信頼性を有する電源設備も入れたものを記載をしております。
0:34:03	57 - 4 - 8 ページ目は、先ほどの前回の御指摘事項の回答でも説明をいたしましたけれども、
0:34:12	直流電源設備部の上流側リコール交流電源設備の系統図を記載をしております。
0:34:21	はい。
0:34:23	続きまして 57 - 5 配置図ん。
0:34:27	の件について説明をしていただきます。
0:34:30	今回 3 系統グループ設置は表選定に当たりまして最終的に減収建屋に設置するという結論に至ったわけなんですけれどもその考え方について、
0:34:44	57 - 5 - 2 ページ目の
0:34:47	ところに記載をしております。
0:34:50	まずその建屋の選定に当たりましては、地震津波火災溢水そうかっていうのが共通要因に対してそれぞれ考慮してありまして地震に関しましては、
0:35:03	すでにもう地震力に対して、将来ことを確認している建屋に設置するといった方針としております。
0:35:12	て津波に関しまして、その津波はもう到達しない建屋ということで、この文章建屋本設置しておりますし、あとこの原子炉建屋は夫婦津波の浸水の可能性がある。
0:35:25	開口部ですから扉男に関して必要なその対策を行っているということで、3、津波に対しても対応されてるといったところを考慮しております。
0:35:36	火災に関しましては、この火災の発生防止、火災の感知消火の対策を
0:35:44	文章建屋はすでに行っておりますけれども、今回設置する蓄電池の容量に関しましてこういった対策を行おうとしております。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:53	溢水に関しましてもそういう溢水が発生したときの水位等を考慮して、必要。
0:36:00	市長会会則施された場所に設置するということを考えております。
0:36:06	手作業に外部からの衝撃に関しましても、
0:36:11	設計基準事故対処設備と3系統の当時機能を失うことはないように、施設部さんとかそういったものを考慮した配置となっております。
0:36:26	続きましてその現象建屋内におけるフロアレベルの考え方もについて模擬して2日稼働後に試験のところに記載をしております。
0:36:38	津浪に関しましては、そもそも普通津波が到達しない範囲に設置してるといったところ、
0:36:46	建屋のほうで考慮しております。
0:36:50	高さに関しましても、
0:36:52	先ほど火災の感知消火対策というのは、そのフロアレベルやあまり関係しない。
0:36:57	ところかというふうに考えております。
0:37:00	地震、
0:37:02	いっすに関しましては、
0:37:04	こちらに記載の通りなんですけど地震というのは一般的に下層階のほうの有利な面がある。
0:37:11	ということもございますし、溢水対策っていう観点からすると上層階に移設したほうが有利というような、そういった側面があるところがあるんですけども、今回から蓄電池に関しましてはこの耐震なに関しましても或いは溢水、
0:37:28	に関しましても、
0:37:30	何を
0:37:31	ほかの
0:37:33	これは蓄電池と同時に完備しが流入しない場所に設置するといったことを考慮しているというところでございます。
0:37:44	はい。
0:37:45	続きまして57号の産地的分散になりますと、こちらは
0:37:52	本部建屋層フロアレベル建屋につきましては、
0:37:56	表の
0:37:58	次のページにあります通り57-5-5のページにあります表のほうで示しております。こちらは説明資料に会館内容と同一でございます。
0:38:11	あと具体的な各建屋内の配置につきましては、その次の57号の6ページ目以降にそれぞれの設備を記載をしております。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:23	こちらは3系統目の蓄電池だけではなくて、それと位置的分散を図るべき各設備する人は非常用ディーゼル発電機とかフォロー設計基準事項対処設備の蓄電池といったような、そういったものとの
0:38:39	位置関係を記載しております。
0:38:46	はい。
0:38:49	続きまして57の六甲は四条及び揚力設計根拠になりますけれども、こちらはどうか先ほども
0:38:58	概要説明資料の説明いたしましては、内容とほぼトントンと同一内容となっておりますこの6もう7号炉それぞれ記載した保護となっております。
0:39:14	最後、57の運河ながらその他資料ということで、2.資料不足しております、まず57-7-2ページ目からは、
0:39:27	今回の新設するケーブルルートの図面を記載しております。
0:39:34	その57番、6ページ或いはそういった図の内容となっております。
0:39:40	あと57の7-7ページ目。
0:39:44	うん。
0:39:46	3系統目から給電する対象設備となるファン電気設備はどこになるかということだけ。
0:39:54	こちらは1系統が2系統の3系統がそれぞれ横のフォロー、
0:40:00	代替所内電気設備になりますけれども、つまりRayleigh設備等のハードの独立性を確保した系統のほうに給電するといったことになりますので、その旨をこちらのほうで記載しております。
0:40:14	はい。
0:40:16	この補足説明資料の資料の構成につきましては説明は以上となります。
0:40:26	。
0:40:28	規制庁取り入れつつ御説明ありがとうございます。それでは、補足資料で、
0:40:34	何か。
0:40:36	確認したいことがあるとお願いしたいと。
0:40:40	何かございますか。
0:40:47	じゃあ私からすみません、57-3-11ページで、
0:40:54	制御弁式鉛蓄電池と弁当型の蓄電池ms言い方として姿の水素発生のところ
0:41:03	で、ms言い方のところで、
0:41:06	の記載ですね。
0:41:10	その1分放電状態にして発生をされてっていうのもわかるんですけど、その他見かけ上を水の電気盤化が行われていないように構成したものというところは

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ちょっとよく理解できなくてですね、この辺ちょっとご説明をしていただければと思います。
0:41:28	ほぼ
0:41:53	はい。
0:41:55	東京窯業ホールディングスの若林です。
0:41:59	見かけ上トンがわかってもらうんですけども、ファイル実績と実際には弁当若くクラブは一つはベンツ水が電磁分解しないから、それで水素が発生しないというふうな、そういう構成に
0:42:14	違ってしますので、
0:42:16	ハロー
0:42:18	見かけ上という記載がありますけれども水室電源を変えるほとんど行われていないとわからない。水素が発生しないというような、そういうものになっております。
0:42:33	9条テルイです。今おそらくそうなのかなと思ってその前段に書いてあるようにその一部放電状態にしているっていうことから、水電気分解の事態でのそのせさせるを押さえているっていうことなんだと理解はしたんですけども。
0:42:50	ちょっとその資料上その見かけ上等あるのですよね、おそらく何かこれって
0:42:58	それぞれの型式のおそらくしょうとかから引用して記載されてるんじゃないかなと思いますので、少しちょっとこの見かけ上の意味するところ、或いはその不要なのかどうかということも含めて少し
0:43:13	ちょっと調べていただいて、づきさについては、
0:43:19	御検討いただければと思います。
0:43:22	。
0:43:25	当庁戻入ホールディングスの若林です。
0:43:30	こちら記載のほうにつきましては、
0:43:33	ちょっとあの検討の上のつって吊っ記載に見直しのほうは、放射性至ったというふうに考えております。
0:43:42	。
0:43:45	規制庁定率他の2個ありますか。
0:43:52	今のところに断層方というので。
0:44:02	はい。
0:44:03	はい。
0:44:08	規制庁イワサキですウィーンはもうそんな止水そんなところなんで8000ところなんですけど
0:44:16	そう。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:20	ただ単純にちょっと疑問で
0:44:24	弁当型よりも、
0:44:28	水素発生量 20%軽減されている。
0:44:34	うんですけどその比較評価のところ、水素ガスがほとんど発生しないっていうのは、
0:44:41	20%で何かお渡しして直後に背中のおんまりその相場感が終わってないだけなんかもしれないんですけど、2割原理ほとんどって言ってしまっているのかどうかっていうのをちょっと疑問に思ったんで、そこをちょっと御説明していただければと思います。
0:45:01	東京電力ホールディングスの若林です。
0:45:05	まずこれを制御弁式のベント型実際にどれだけ水素が発生するという観点で申し上げますと、この一番右側に書いてあります通り、
0:45:16	もう専用部品系蓄電池というのはもう放置するの。
0:45:21	ほとんども水素が発生しないというのは、実際の性質でございます。
0:45:27	で、こちらで 20%と書いてありますのは、
0:45:32	そうは言いますと、万が一、例えばその水素が出るような場合も考慮して空調設計を行うにあたって、
0:45:42	帯水層の会計をどのくらい控除するかっていうのを、
0:45:47	を考える場合にはこの企画上の数字として、
0:45:51	ベント型よりも制御分子は水素の 20%少ないとして、
0:45:56	標本するといったそういった数字となっております。
0:46:00	実力としてはもう水産はほとんど発生しないと。
0:46:05	言っても過言ではないものってございます。
0:46:09	。
0:46:14	はい。
0:46:15	規制庁イワサキですわかりました。そういうことですね 20%減されたからほとんど発生しないわけではなくて、あほもともとほとんどメイト積分型はもともとほとんど発生しないものなんですけれども
0:46:29	換気量換気とかを考慮する上で、ベント式よりも、例目と式の 80%で
0:46:39	設定して、そういう負の管理とか設計するために、ここでは 88%としているということで判り理解しましてありがとうございました。
0:46:56	規制庁定率ほか何戸。
0:46:59	ここ、
0:47:01	ページのところよろしいですか。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:07	東京電力ホールディングスの社長、先ほどご指摘いただきまして3日慶長の話なんですけれども、政局番と振っ局番というものがもちろんございまして、そちら内服側での発生した水がさとか清掃に変化するんですけど。
0:47:23	福岡部局が3埠頭正確に反応続けて充電地上隊と放電状態が常に同時進行となっているような
0:47:32	要は重点と放電が行われることによってその分解と反応っていうのが、
0:47:39	なので見かけ上という表現はそこからきております。
0:47:44	はい。すみませんちょっと回答になっておりますでしょうか。すべてのテルイで理解できました結局その今なんて発生量等諸費なっていたら平行平衡してる状態になってるので。
0:48:00	見かけ上でゼロになってるっていう自体は物は出てるんだものが出るのは出るんだけど、一方で、酒井元に戻る判断も同時に起きてるので見かけ上となっているということですが、理解しましてありがとうございます。
0:48:16	はい。
0:48:18	よろしいんですけど、何か。
0:48:23	コメントありましたっけ。
0:48:25	特にない。
0:48:27	はい。そう。特に今のところの層ですので、
0:48:37	はい。次の話題に加えて少し休憩を挟んで5分後ぐらいに再開をしたいと思います。
	休憩
0:00:02	原子力規制庁のテルイでそれでは再開をいたします。当局から説明をお願いします。
0:00:10	はい。
0:00:11	東京電力の山口と申します。それでは資料0KK.67004R00 原子力事業者の技術的能力に関する審査指針への適合性についてについて御説明差し上げます。
0:00:28	こちらの資料なんですけれども、目次のところに記載しておりますが、
0:00:35	既許可との相違点につきまして、アンダーラインを引いて明示してございます。
0:00:42	既許可は八の有毒ガス防護に関するものが至近の例となりますので、そこからの差分を中心に御説明差し上げたいと思いますか。よろしいでしょうか。
0:00:56	規制庁のテルイですそれで結構です。
0:01:00	はい。
0:01:02	東京電力ヤマグチです。はい、それではご説明させていただきます。初めに、1ページになりますけれども、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:12	はい。
0:01:12	1 ページ目。
0:01:14	1 ポツはじめにのところで、今回申請の所内常設直流電源設備 3 系統目の設置といった形で、本申請に係る記載としております。
0:01:26	以降ですね、こちらの資料 2 ぽつ(1)から(6)の分類ごとに指針に対応させて御説明しているといった内容になってございます。
0:01:36	こちらですけれども、前回から有毒ガス既許可の有毒ガスから大きく変更になるところとしましては、品管規則の施行ですとか組織改編といったところで、保安規定変更になっておりますので、そちらの反映をしています。
0:01:51	いったことと、あとそれと人員データ等を各種のデータが当然この資金のものに情報アップデートしていると、そういったような形の構成となって変更内容となっております。
0:02:09	3 ページになりますけれども、
0:02:14	こちら下のほうで、運転及び保守に係る組織といったところで、こちらの組織改編行っておりますのでモバイル設備管理グループ。
0:02:26	コンフィグレーションマネジメントグループといったところを追加してございます。
0:02:37	はい、続きまして 8 ページになりますが、
0:02:46	こちらについて技術者の確保につきまして、
0:02:53	発電所等の在席の人数ですとかそういったところを令和 3 年 6 月 1 日現在といった形で情報のほうを更新してございます。
0:03:02	続いて 9 ページをお願いいたします。
0:03:11	すみません、先ほど少し触れ損ねてしまったんですが、9 ページの下から 3 分の 1 ほどのところに、運転管理及び施設管理となっておりますが、こちら施設管理のアンダーライン引いてあるんですけれども、こちらの方、同規則のほうで保守管理という記載が施設管理と期待に
0:03:31	置き換わっていて、本規定のほうもこういった表現にすべて統一されておりますので、他の類似箇所を含めてこのような形で対応する場所については修正をさせていただきます。
0:03:46	続きまして 11 ページをお願いいたします。
0:03:53	こちら中段
0:03:55	真ん中より少し下のところで、重大事故等対応設計及び工事に関する技術習得技術者数といったところでこちらも
0:04:05	工事の件数とか人の比率といったところで数字の見直しを行っております。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:18	はい。続きまして、15 ページなんですけれども、こちら弊社プラントの運転経験といった形で表形式で記載してございまして、こちらの2Fの
0:04:34	廃止について情報更新しております。
0:04:45	はい、続きまして28 ページをお願いいたします。
0:04:52	28 ページですけれどもここから品質保証活動(4)といったものが始まっておりまして、この範囲につきましては、
0:05:02	品管規則のほうの施行に合わせて、保安規定も見直しております。それに伴って
0:05:11	言葉遣いですとか、表現のほうがかなり変わっておりますので、変わったところをする下線で示してございます。
0:05:24	こういったところがこの項の(4)の品質保証活動全般について、アンダーで引いてありますけれどもすべて、その変更に伴う
0:05:34	修正となっております。
0:05:53	はい、主な変更点以上となっております(5)(6)につきましては、本文のほうは、修正のほうございません。
0:06:02	あと別紙の1から5ということで、後ろのほうに資料を大量に
0:06:09	幾つかつけさせていただいてるんですけれども、こちらのほうは、最新のマニュアルですとか保安規定の内容にすべて差し替えた形で最新の情報にアップデートしているといった形になってございます。
0:06:24	簡単ですが、説明以上となります。
0:06:29	規制庁テルイですご説明ありがとうございます。それでは、本件について何か。
0:06:36	したいことがあればお願いしたいんですか、何かございますか。
0:06:47	規制庁イワサキですちょっと単純に確認したいっていうか
0:06:53	3 ページの運転管理に関する業務のところでは運転管理はその後の管理グループだけが追加されて施設管理を
0:07:03	コンフィグレーションマネジメントグループも追加されているんですけど、これは、
0:07:09	ここ、ここで何かなんで施設管理で結構このグループが追加されているかちょっとお聞きしてもよろしいですか。
0:07:22	。
0:07:23	東京電力の山口です。
0:07:27	コンフィグレーションマネジメントグループにつきましては、現場と図面ですとかそういったものがきちんと整合するようにですとか、そういった設備面施設管理面の業務が主になっておりますので、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:42	施設管理についてのみ記載をさせていただきます。一方でモバイル設備管理グループにつきましては本規程の中の巡視点検ですとか、そういったところを当直と一緒に当直と同じような形で行うような形になっておりますので、こちらのグループにつきましては運転管理についても追記しています。
0:08:00	いった形になってございますが、施設管理に加えて運転管理の両方記載をさせていただきます。
0:08:12	。
0:08:13	わかりました。ありがとうございます。はい。
0:08:20	。
0:08:21	規制庁、
0:08:23	私から三条改正のときにあわせて組織変更してやったと記憶をしてますけど。
0:08:30	コンフィグレーションマネジメント自体が三条改正の施設管理になったときに高校生管理という形で能要求が入ってそれを多分やるための組織として作られたと記憶してるんでそういう意味で、
0:08:46	施設管理としての要求たる構成管理を下期中グループとして確か。
0:08:54	設けられたんだと記憶をしてますけども、その理解でよろしかったでしょうか。
0:09:01	はい。
0:09:03	。
0:09:08	ここ。
0:09:09	はい東京電力に対する耐専おっしゃる通りで、そこに合わせですが、我々としてもやはりこの辺の変更管理のところをしっかりとやらなきゃいけないということもございましたので
0:09:19	あそこに合わせて組織改編してるということになってございます。
0:09:24	ちょっとですね。はい、ありがとうございます。
0:09:29	他何か。
0:09:31	あります。
0:09:34	いろいろいいですか。
0:09:38	もしまた何か、今後資料見てない場合、引き続き確認させていただくと。
0:09:45	ということで、特になければ、
0:09:51	はい。
0:09:53	レベル3から追加で何かありますか。
0:09:56	はい、東京電力ですけれども、特にございません。規制庁トレイです。掛かります等トレイでバー法ですね、ヒアリングはこれで終了したいと思います。ありがとうございました。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。